

授業科目名	リハビリテーション論			担当教員	千原 明美	
開講年次	3年前期	セメスター	5	時間数(単位数)	15 (1)	
必修選択	必修	授業形態	講義	使用教室		
授業の目的	多様に展開されているリハビリテーションを保健・医療・福祉の視点から理解する。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. リハビリテーションの概念、リハビリテーション看護の概念について述べるができる。 2. リハビリテーションを必要とする人の特徴について述べるができる。 3. 経過別・障害機能別リハビリテーションについて説明することができる。 4. リハビリテーション・チームにおける看護師の役割と多職種連携について説明することができる。 					
ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ	リハビリテーションを必要とする人は様々で、障害別・経過別・日常生活行動・社会参加など幅広く考慮しながら、人間の尊厳と権利を擁護することが重要であることを、十分理解した上で、対象者のQOLの維持・向上を目的にチームで働く力を養うことが必要となる。 本科目はその概論および基本的なかかわり方についてを保健・医療・福祉の視点から理解し、今後看護展開の中で活かすことができるように基本的知識の修得を目指す。					
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力	
	◎		○			
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者	
1	ガイダンス, リハビリテーション概論 リハビリテーション看護概論	講義	予習: 2年次地域看護Iで履修した、ICFについてを再度復習しておく。 復習: テキスト p12 ~ 26 を読む。	1 時間	千原	
2	各身体機能のメカニズムとアセスメント (1) 呼吸・循環・運動	講義	予習: 指示した、key Word について調べて、説明できるようにしておく。 復習: テキスト p78 ~ 101 を読む。	各 1 時間	千原	
3	身体機能のメカニズムとアセスメント (2) 栄養・排泄・高次脳・性機能・感覚器	講義	予習: 指示した、key Word について調べて、説明できるようにしておく。 復習: テキスト p 102 ~ 152 を読む。	各 1 時間	千原	
4	心理・社会的なアセスメントと支援	講義	予習: 指示した、key Word について調べて、説明できるようにしておく。 復習: テキスト p 30 ~ 54、p 162 ~ 176 を読む。	各 1 時間	千原	
5	生活の再構築へのアセスメント支援	講義 演習 (GW)	予習: 指示した、key Word について調べて、説明できるようにしておく。 復習: テキスト p 182 ~ 205 を読む。	各 1 時間	千原	
6	生活の再構築への支援	講義	予習: 指示した、key Word について調べて、説明できるようにしておく。 復習: 指示した課題	各 1 時間	千原	

7	チームアプローチと看護の役割	講義	予習：指示した、key Word について調べて、説明できるようにしておく。	1 時間	ゲスト スピーカー
8	リハビリテーション看護のまとめ 課題・試験のフィードバック	講義	予習：指示した、key Word について調べて、説明できるようにしておく。	1 時間	千原
先行履修 科目	2 年後期までに履修すべき全ての科目				
テキスト	奥宮暁子 他 編集：ナーシンググラフィカ 成人看護学⑤リハビリテーション看護. メディカ出版, 2017.				
参考文献	酒井郁子 金城利雄 編集：リハビリテーション看護 障害をもつ人の可能性とともに歩む. 南江堂, 2015. 武田宜子 他：系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護. 医学書院, 2015. 落合慈之 監修：リハビリテーションビジュアルブック 第 2 版, 学研, 2016.				
評価方法	課題 30%, 試験 70%				
教員等の 実務経験	急性期・慢性期病院での臨床、及び在宅・地域でリハビリテーションを他職種連携で実践してきた看護師経験のある看護教員が講義を担当。				
メッセージ	ガイダンスおよび各講義終了時に、次回の予習 key word について指示を行います。それを各自調べて説明できるようにしておいて下さい。				